

4. 「とよなかの環境～2024 年度速報版～」に寄せられた環境に関する意見

環境に関して記述された意見は 414 件ありました。環境目標ごとに分類して掲載しています。

※掲載している内容は原文を尊重しておりますが、可読性の観点から、必要最小限の編集を行っております。

環境目標	内容	件数
目標 1 (48 件)	• 環境情報の提供	10 件
	• 環境に関する教育・学習と意識啓発の推進	5 件
	• 協働とパートナーシップに基づく施策の推進	33 件
目標 2 (57 件)	• 省資源・省エネルギーを通じた脱炭素社会の実現	39 件
	• 再生可能エネルギー等の活用促進	4 件
	• 環境に配慮した運輸部門における施策の推進	14 件
目標 3 (157 件)	• 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進	151 件
	• 廃棄物の適正処置の推進	6 件
目標 4 (123 件)	• 受け継がれてきたみどりの保全や育成	52 件
	• 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出	38 件
	• みどりを活かした安全で快適なくらしの実現	18 件
	• 生物多様性の総合的な保全と活用	6 件
	• 都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出	9 件
目標 5 (18 件)	• 環境汚染防止対策の充実	6 件
	• 都市・生活型公害対策の推進	11 件
	• 健全な水環境・水循環の創出	1 件
報告書全体に関すること		11 件

環境目標① よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む

①環境情報の提供	
<ul style="list-style-type: none"> ・ パートナーシップについて身近に感じないので、もっと市民に可視化して取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知らない情報が多い。マチカネアプリで知ったこともあるので、アプリも便利だなと思う。色々教えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ くらしかんや環境センターだけでなく北部にもそのような拠点を置いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に身近な店舗や回収イベントを見ているので、資料の理解がよりしやすかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の具体例の成果がよくわからなかった。例えば、啓発目的なら、現状がどうで、どれくらい認知度を上げたいのか、その認知度と処理量の相関関係があって、はじめて活動成果が見えるように思う。焼却処理量自体は目標をクリアしているのはいいと思うが、市の取り組みの成果として効果があったのかどうかはあまりよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的にわかりやすくしてほしい。 ・ 進捗情報をもっと詳しく知りたい。 ・ 住民への協力を積極的にアピールしたり、取組みサークル、例えば環境リーダーの学習会を設ける等、広く住民を巻き込む取組みが必要である。特に環境交流センターを活用して、活発な活動を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校から環境問題への意識付けをより積極的に進めてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況が、イラストを使用していて分かりやすいものだった。

②環境に関する教育・学習と意識啓発の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の連携が、生活の中で感じられにくいように思う。地域活動など参加している方はそうでもないのだと思うが、仕事で忙しい人や子育てを卒業したシニアにも地域連携の感覚を提供できる工夫があるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市には、世代や分野を超えて意見交換できる場や、市民が気軽に関われる環境活動の機会をさらに広げてほしい。みんなで力を合わせることで、より住みよい豊中になることを期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の担当者や専門家による（オンライン）講演会なども、仕事を持っている人やシニア対象なら有効だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校では教育が重要である。校外学習はもちろん体力のある中高生にはより実践的なプログラムを企画して定期的に体験してもらおう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市には、市民が楽しく参加できる環境イベントや、子どもたちが学べる体験型の環境教育をもっと広げてほしいと思う。 	

③協働とパートナーシップに基づく施策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服リサイクルに微力ながら協力した。身近な日常生活同線上に回収場所があり取り組みやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組む中で、コミュニティが形成されたというのは、環境への活動だけでなく今後の様々な活動にも繋がると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服リユースの取組みが良い成果をあげていることが分かった。衣服のみならず、ベビーカーや用品などのリユース機会を作る&増やしてはどうか。また、同じ仕組みを活用した、別のリユースシステムを作るなどの展開にも期待したい。(例:陶器類、中学校の制服など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服リユースについてこれからも継続していただけたら幸いである。環境に貢献するのはもちろんのこと、物価高騰で子どもの服まで手が回らないのが現状なので、子ども服リユースのおかげでとても助かっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服のリユースは自分も寄付したことがある。それがこうやって取り上げてもらえるとうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服がどのようにしてリユースされているのかを具体的に理解することができてよかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服の再利用は身近な取組みとして取り組みやすいので良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街をよりよくしようとして素晴らしい取組みである。

③協働とパートナーシップに基づく施策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> おゆずりぐるりは、よく利用している。すごく良い取り組みだと思う。その他、ベビー用品やおもちゃなども、循環させられると嬉しい。クリーンランドで実施されていたベビー用品回収は参加したが、もっと回収拠点多く、時期も長ければありがたい。大人の服についても、循環できる仕組みがあったら良いと思う。廃油の回収も利用した。廃油以外にも、保冷剤やハブラシなど、個別回収することでリユースやリサイクルにつながるものへと、範囲を広げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユースについて、おゆずりぐるりの取り組みは以前から気になっていて、利用してみたいと思っている。近くの図書館などであっても期間限定のため、タイミングが合わずまだ行ったことはない。いつでも気軽に持ち込める常設の場所なら利用しやすいので、近くにあればいいと思う。持ち込んだついでに仕分けや陳列なども、分かりやすい説明があると手伝いやすいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> おゆずりぐるりはよく利用しており、サイズアウトした服も持っていけるので罪悪感もなく、子どもの服ももらえるので助かっている。大人の服のリサイクルがなくなったので、復活してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服リユースにいつも、持ち込み持ち帰りともに参加している。子どもの服はサイズアウトや汚れ破れなどですぐに着れなくなるので、物価高で家計が苦しいなか本当にいつも助けられている。環境のためにもなるのでこれからも続けてほしい施策である。
<ul style="list-style-type: none"> 衣類の再利用は不要となった衣類を持つ人と必要とする人を数多く繋げないと古衣類の循環はまわらないと思う。多くすることにより再利用の可能性が高まると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユースはかなり助かっている。今はもらうことが多いが、これから譲る側になっていくと思う。こども園で定期的に子ども服を回収されているので、どんどん循環させていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリサイクルは良い取り組みだと思う一方、高価なブランド服しかショップでは取り扱いがなく、(利益が出ないため) 売るにも買うにもハードルが高い気がする。安価な新品を買い傷んだら廃棄するということになる。無料で回収配布はボランティアが必要で、給料が発生しないので質が悪くなる傾向がある。もっと何か意識を変えることはできないだろうかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境行政の推進は、市民、事業者、行政が各々の役割を担うと共に、各々が連携しながら継続していくことが重要だと思う。その中で行政の役割は環境推進する為の、仕組み仕掛け、きっかけ作りだと思う。環境行政は、明らかな成果が見えにくい分野だと思うが、政策を粘り強く継続していく事が重要かと思うので、職員の皆さんには引き続き頑張ってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども服の回収拠点が増えたと感じた。私は対象の子どもはおらず、古着がないので自分が子ども向けのサイズで作成したスモックを出したことがある。それがどうなったのか、知る術があれば嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユースを考えた方は、自分がリユースの服しか着れない立場になったことがあるのか、疑問を感じた。子どもの気持ちを考えると辛いと思う。ごみを逆に有料で買い取るなどして、困っている人が新しい服が買え、経済活性化にも貢献して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく、市民、企業、学校、地域団体などが協力して環境づくりに取り組むという方針に、とても共感した。多様な立場の人々が意見を出し合い、連携することで、より実効性のある取り組みが生まれると思う。私自身も、地域の清掃活動やリサイクル運動など、身近なところから参加し、協力していきたいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分も参加した「おゆずりぐるり」が目標1の取り組みの1つだったことを初めて知り、嬉しかった。 子ども服のリユースはコラボで見かけて気になっていた。通り過ぎた際に見ている人がおらず、見る勇気がなかったが今度見てみようと思った。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリサイクルは、良い取り組みだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体が環境政策に取り組むことは非常に良いことだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども服だけでなく、一時的に使うベビーベッドやベビーカーなども循環できたら良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> リユースを子ども服以外にも広げてほしい。 いい取り組みだと感じた。

③協働とパートナーシップに基づく施策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 諸活動の成果や課題を共有し、参加者のアイデア交換する機会を毎年スパイラル的に発展させていくことが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も子ども服リユースを続けて利用したいと思う。 服以外もあってほしいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユースはとても参加しやすい取組みでいいと思う。 自分もサイズアウトした服を出しましたし、貰った事がある。 すごく気に入っている取組みである。 管理が大変かもしれないが、未使用のおモチャや三輪車などもリユース出来たら嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユース活動が色々な形で行われていること、それが地域の子育て世代の繋がりにも役立ちそうなことを知り、更に広がればいいなと思った。 積極的にどんどん、いろいろと進めていって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 使用済み子ども服を活用した資源循環の取組みは、子育て世帯にとっても、環境にとってもよい取組みだと思う。 短期間しか着ることのできない服を繋いでいくことが、親とまちとのつながりにもなるかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 打ち手先行になっている印象。 市民が本当に何を求めているのかを踏まえて、今直近の子ども服に取り組んでいるのか。 振り返りも周知度・満足度等、アンケート指標で一定定量定性収集できるかが気になる。

環境目標② 1人あたり温室効果ガス排出量 (t-CO₂) を令和9年度(2027年度)までに平成2年度(1990年度)比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす

①省資源・省エネルギーを通じた脱炭素社会の実現	
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化が予想以上のスピードで進んでいる現状を危惧している。進捗状況を見ると順調に減少しているので良かったと思うが、今後AI社会になるとさらに電力消費が増加するので、イタチごっこだと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市の目標:2027年度1990年度比38.3%削減と政府の目標:2030年度2013年度比46%削減の整合性を図り、分かりやすい目標を設定する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスが環境にどの程度影響があるのか、全く理解できない。排ガスなどはあきらかに人体や環境に影響しているが、温室効果ガスと温暖化の結びつきは疑問である。その考えに基づいてゼロカーボンをめざすのは、自治体の仕事ではないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市でこんなに取組みをしていること、恥ずかしながら知らなかった。 しかも目標を達成しているのは素晴らしいと思う。私も市民の1人として、小さなことでも面倒くさがらずに取り組んでいきたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> エアコンの設定温度をあまり触らない様にしたり、長時間使用しない家具はコンセントを抜く様、心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人宅でもできる排出量の減少の取組みについては、なかなかどのくらいの排出量を削減できているのか実感することが難しい。
<ul style="list-style-type: none"> 豊中市が脱炭素社会をめざして、再生可能エネルギーや省エネの取組みを進めていることを知り、身近なところから行動する大切さを感じた。地球温暖化の問題は大きいですが、市民一人ひとりの意識と努力で変えていけると思う。私自身も、電気の無駄を減らし、マイバッグの使用や公共交通の利用を心がけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みたいとは思っているが、何をしたらよいかわからない。 どのような行動をすれば、少しでも貢献できるのか教えて欲しい。 削減と経済的負担のバランスが大事である。 1歩ずつゆるやかにでも進捗をすすめることが大事と思う。
<ul style="list-style-type: none"> 民間のクールステーションは良い考えだが、市役所などの強すぎる空調も考え直すべきだと思う。役所の方は真夏もカーディガンを羽織っており、学校では使っていない教室にもエアコンが効いている。公こそ環境に意識を向けるべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市は環境保護保全に取り組んでいることに理解をして大変良いことだと思っている。 私達一人一人も出来ることをやっていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 自分でも常に気にして取り組みたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> できることは率先して積極的に取り組んでほしい。

①省資源・省エネルギーを通じた脱炭素社会の実現	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできることを取り組みたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分達の環境を未来の子ども達の為に、守るのは、私達の責任だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までされている事は、素晴らしいと思う。市民一人一人が、意識持って取り組めるような対策も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガスの削減は難しい問題であるが、身近な所から少し達成していき、気長に取り組むことが大切であると感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球沸騰化が進み、今こそひとり一人が行動できる場所から取り組むべきと強く感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わずかずつでも課題や目標についての意識を向上させることができるよう、身近な人たちとの情報共有を心掛けたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔から、大きな変化は、それなりの必然性によって、生じてきたと思う。命に関わるものや、経済性、便利、など。二酸化炭素はその前例（過去の環境対策の成功例）に合わないのが難しいのだと思う。とすれば、二酸化炭素を削減することで、あるいはその過程で、こんないいことがある！との前例を作るしかない。そこで、適当な場所を決めて、そこで生活そのものが変わる姿を、市民にデモンストレーションするなどして見せてはどうか。関西の広域特別区などの制度も使えるのではないかと。私は、二酸化炭素排出削減した世界は、今よりもいい社会になると信じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱炭素の項目については、内容が薄く感じる。温暖化の現状は、ティッピングポイントに達してしまった恐れがある、という報道が出るころまで来ている。具体案は挙げられず申し訳ないが、もっと根本的に意識・行動改革をするような事業の必要性を感じる。また、脱炭素だけでなく、リジェネラティブ農業の普及により、大気中の二酸化炭素を土の中に還す方法も有効である。リジェネラティブ農業の普及にも取り組んでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ このまま推進して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人でどうやって減らせるのかわからない。方法があれば教えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況が順調に進んでいると聞いてよかったと思う。これからも省エネなど努力していきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場や店舗の排出量がかかり影響があると思うので引き続き法人に働きかける。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガスや脱炭素は目に見えないので削減による直接的な効果は分かりにくいいため、市民に馴染みのないものを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりのところがまえが大切である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり一人の行動の積み重ねが大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性と脱炭酸化は二律背反でかなり難しい課題だが、出来るだけ環境に配慮した形で実現してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気やエアコンをできるだけ節約してエネルギー消費量を減らす努力をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく理解出来ていないため、まずどういった事なのか理解する所から取り組みたいと思う。私の様な方は多いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりを増やすことでCO₂をへらす。街路樹を増やして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しいそうだができることをできる範囲で協力したいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが小さな事でもいいので、みんなで取り組んでいけば、大きな取組みになると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にとって大切なことだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業だけでなく、各家庭でもできることもあるならば知りたいので、一般市民向けのセミナーもしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例え小さくとも出来る事が有れば積極的に動く。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが小さな事から省エネを実行する。今年は照明の小まめなスイッチオフを心がけている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが自覚を持って少しずつ、できることをする。すぐには、結果がでないと思うが、目の前にできることをしていきたい。

②再生可能エネルギー等の活用促進	
<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅の屋上や壁、戸建て住宅の屋根への新しい太陽電池の設置など活用の余地は大きく残されており、まずは公共施設:学校や公民館などから始めて順次民間住宅に広げていくことは考えられないのか。 豊中市には緑が多く公園や街路樹など都市鉱山ならぬ都市森林があると思われ、バイオマス発電や熱供給などに活用する一方、非常時には独立したエネルギー源として利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ペロブスカイト太陽電池」などの新技術を活用した設備の導入を検討されているようだが、この太陽電池は劣化が早く、現状では寿命が5年ほどとされており、将来的に大量の産業廃棄物の排出が懸念されるように思う。 太陽光発電など、各自が出来る事をしていく事。 もっと太陽光発電パネル等が安くなってくれればと思った。

③環境に配慮した運輸部門における施策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> なるべくエネルギー(電気・ガス・水道)を無駄遣いしないようにすることや、移動に自転車や電車・バスなど公共交通機関を使うように心がける程度の取組みしかできないが、これからも微力ながら協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道と自転車道をしっかり分けて、歩道を安全に歩けるようにしてほしい。駅前前の歩道に停めてる自転車、なくして安全な歩道の確保してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況はそこまで進んでいる感じはしていないが、公共交通機関を使うなどは積極的にしていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン車から電動自動車への移行を促すために補助金の増額や期間延長を期待します
<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車を利用することが本当に環境負荷を与えないか疑問がある。 1. 電気自動車とガソリン車では製造過程では電気自動車の方がエネルギーを使う。 2. 電気は石油等を使って発電するため電気自動車の CO2 排出量も本当に少なくなるのか。 3. 電気自動車が廃車となる際の電池に含まれる有害物は環境に影響がないように処理ができるのか。 4. 電気自動車とガソリン車を比べた時に利用コスト面で電気自動車はガソリン車より車体が高価でありコストがペイできているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車やチャージスポットの導入の取組が良いと思い、今後も拡大してほしいと思いました。個人としてもガソリン車の利用に関してなど取り組めることもあるかなと感じました。 電気自動車普及は環境に良いと思いますが、販売元がテスラならまだしも BYD やシャオミ等の中国メーカーが多いので、買う気になれません。 EV 車の普及率を上げるため、公用車の多くを導入し、市民に宣伝してほしい。 公共交通機関を使う。 歩けるところは歩く。 自転車が安心して走るゾーンを増やす。
<ul style="list-style-type: none"> 車から出る排ガスは着実に減っているようでいいことだと思う。車の EV 化が脱炭素に貢献しているという印象だが、本当なのか。その電気を作るためのエネルギーもきちんと換算されていないとただのごまかしに感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で取り組みたいことは、自転車や電車を利用する。自動車でしか行けない場所のみ、自動車を利用するよう心掛けることである。豊中市に必要な取組みは、電気自動車の充電スポットを増やすことだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 自家用車を控え、公共交通機関を使用する事とガソリンに代わる電気自動車を増やしていく事。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車を増やすのはいいと思う。ただ、充電できる場所が限られている。

環境目標③ 発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）まで平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から分別には気をつけている。この調子で継続できたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無駄なものを買わない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市がごみの減量やリサイクルを進め、循環型社会をめざしていることに共感した。限りある資源を大切に使い、捨てずに再利用する考え方はとても大切だと思う。私自身も、使い捨てを減らし、分別を丁寧に行うよう心がけたい。また、まだ使える物をリユースする取り組みや、フリーマーケットのような場がもっと増えると、市民も楽しく参加できると思う。豊中市には、子どもから大人まで学べる「ごみ減量の意識づくり」の活動をさらに広げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別については、年々定着が進んでいてしており望ましいと感じた。食品ロスは今までの物価高の中たいへん勿体なく、コンビニなどでは賞味期限が近いものは安くなるようになったので、自分としてはその商品を買うように心がけている。それでもまだまだ捨てられる食材が多いように思うので、改善が目標に近づくように啓発や製造調整が必要と感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック包装のマークがついてるのを時々燃えるごみに混ぜて捨ててしまうことがあるので、分別をなるべくきっちりするようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想以上に焼却ごみの量が減少していて驚いた。ただ、これは人口減少などの影響も多少はあるのではないかと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々焼却処理量が減っているのが素晴らしいと思う。リサイクル率も微増で市民として好感が持てる。一方で、掲載されているように、可燃ごみの中に、再利用可能なプラスチック包装や紙などがけっこう入っているようなので、これらをリサイクルに少しでも回すことができたらと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SAFの作成の為に、家庭の廃油の収集方法が、具体的にどうしたら良いか分からない。 ・ これからも資源ごみを減らす努力を続けていきたいと思う。 ・ リサイクルやリユースなど、自分で出来る事は今後も取り組み続けようと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙類など資源ごみを可燃ごみに捨ててしまうことがあるので、なるべく資源ごみに出すように気をつけていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを減らすために、食べ残しがないように買い物の量を考える。使えそうな物は、ごみに出さずにリサイクルに出す。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済みの油をリサイクルする取り組みがあるが、油を回収する場所をもっと増やしたら、リサイクルがもっと進んでいくように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までは買い溜めばかりしていた。使わないもの、食料品も無駄にしてしまったので今後は必要なものだけを購入する様にしようと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自、自分たちで出来る範囲で、ごみの減量に気を付けて行くよう努力する。アルミ缶 プラトレーは、回収しているところに持っていく 等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おゆずりぐるりのチラシを見てすごくいいと思った。勿体無い、ごみにするのも心苦しい、と思っていたので、循環できると思うと嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境問題にも関わることなのでできることをやっていき、他人の意識も向上して欲しいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要因分析に書いてあるように、物価高騰で買いたい物を我慢せざるを得ず、それが自然とごみの削減になっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの焼却量減量は資源削減・焼却は大気汚染減量に繋がる大切な事柄である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイバッグマイボトルなど自分ができる事をやっていこうと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内スーパーでプラスチックトレイ回収箇所を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来るだけごみを出さない。分別をきちんとする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中エコショップを利用して、マチカネポイントがもらえる取り組みがたまに行われているが、もっと増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品のロスはなんとかしたいと思う。わたしは賞味期限を過ぎても気にしないが、そうでない人もいるからか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 面倒くさがらずにこまめにしようと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育が一番である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル活動に力をもっと積極的に取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な物を買わず、少しでも家庭ごみの排出を減らそうと思った。

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却処理量は順調に減少し、2027年度目標を既に(3年前)に達成している。各施策の結果と評価できるが、12年間で8%の削減目標はやや甘かったかもしれない。昨今の食品ロスの多さは何とかなしたいと思う所があり、必達目標の達成に止まらず、高位目標をめざしてほしい。賞味期限と消費期限の違いを更に周知することや余った食品の移動先:こども食堂や各施設などを広く開拓するとともに食品故にすばやく対応できる体制を構築してほしい。家庭系ごみの主たる調理くずや食品ロスの削減に生ごみ処理機を積極的に導入できないか。年間100~200kg/機の生ごみが処理できる。戸建用が主だが、集合住宅用に今後は拡大したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的に5月、9月の猪名川土手の草刈り後に、一部区間をごみ拾いをしている。タバコ、ペットボトル、缶、瓶、コンビニやファストフードのホットスナックの包み、乾電池、不法投棄などが目立つ。注意しても大人には通じないこと、特に昨今は急速に市内に外国人の方が増えていることもあり、声かけは身の危険もあるため困難である。子どものころからの思想の定着がとても重要かと思しますので、エコショップやイベントでの啓蒙、小学校の社会学習などでグリーンセンターを訪れる際などに『捨てればごみ・分ければ資源・ポイ捨ては絶対ダメ!』という理念をしっかりと伝えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却量が順調に減っている様子なのはよかった。分別等は面倒なところもあり、プラスチックのリサイクルも本当に意味があるのかわからない部分もあるが、環境対策として有効なものは家庭でも努力したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活に関しては、野菜の皮も食べやすくして、食べ残しもゼロにして、家庭では無駄にならないようかなり努力しているが、学校の給食の様子を子どもに聞くと、食への感謝の意識が低いのか、残飯がよくあるようなので、次世代への食への学びを深める機会を多くしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰で家庭の購入が減っただけでは無く、ごみの分別が徹底されてきたからではないか。また、エコの考えが浸透してきているからとも思う。子どものころは、お下がりや使い回しなど、当たり前だったが、高度成長のもとに使い捨てが、当然となり「もったいない」は死語になった様に感じていた。また、以前のように「もったいない」が、当たり前になれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家中を片付けてでたごみを見てスッキリした気分になる。安く買えるものは深く考えずに買って捨てるを繰り返していることに気付いた。安い商品には助けられているが、本当に必要なものかを考えて購入しようと思っている。また廃油ステーションのようなところで、家庭やお店・給食で使った油を回収して燃料にすれば良いのではと思う。ごみも減り油も有効活用できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ サステナブル、持続可能な循環型社会の構築を意識し取り組むことの重要性を再認識した。ごみの焼却処理量を日々意識し生活する必要があると改めて実感した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家では生ごみ処理機を購入し、コンポストをしている。これによりごみの量が減り、また野菜を育てる肥料になっているのももっと広まれば良いなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市から出るごみもかなり減量しておりよかったと思う。我が家も残飯などを出来るだけ出さないように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを減らすことは、市民みんなが取り組む課題だと思う。リサイクルのことも、不用品を、市政がもっと取り組んで、業者にだけで任せないでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題無く使えるが、処分に費用のかかる家電製品や大型家具を譲りあえるシステムの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルBOXの活用。ビン回収容器の、戸建て複数軒に1つではなく、1軒に1つの貸し出し。
<ul style="list-style-type: none"> ・ とにかく紙ごみは資源ごみに出す。住所などはシュレッターにかけて、資源ごみに出し、紙ごみをへらす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの力は小さいけれど、マイバッグ持参やごみの分別など、自分にできることを続けていこうと思った。

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場は市内だが、生活圏は市外であるため、当事者としての実感は湧かないが、ごみの焼却量が減少しているのは凄いことである。ごみの分別やリサイクルに関して、徹底されている成果と思う。マチカネポイントアプリの利用時に、エコショップの存在を知ったが、事業者も巻き込んで、豊中市の環境向上に取り組んでおられる様子が分かった。また、市民や市に滞在する人に向けた抽選会などで、エコショップの周知や利用促進に取り組まれていて、ゲーム感覚でエコアクションに参加できるのも良いと思った。エコショップの利用や食品ロスの減らすなどの、更なるごみ減量に協力できればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や企業や商店(事業所)において、ごみの分別やリサイクルの取り組みに、まだまだバラつきが大きいのをとても感じる。子どもたちも環境問題を学校などで学んでいるはずなのに、普段の生活にあまり活かせていないように感じる。親の私が実践したり、伝えてもあまり響かない。職場でも、ごみの分別はされておらず、回収業者が一括で回収しているような状況に違和感をおぼえる。 ・ 無駄な包装が多いものを買わないようにする。 ・ まだ使える家具や家電などの回収、再利用の取り組みをしてほしい。明らかに新しい家具や家電が粗大ごみとして捨てられているのを見ると残念な気持ちになります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ リユース、リサイクルが大事と聞いて、実感した。余計な物を増やさない。洋服や靴などでいらぬ物は誰かに譲る。いらぬ本は、図書館に寄贈するなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGSの影響もあり、自分の中ではトレイやペットボトルを回収スポットに持って行ったりしてごみの意識は高いと思っているが、生ごみのコンポストにまだ手が出ないので今後考えていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理量を減らすには、今の消費社会の構造を変える必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルを増やし、ごみを燃やす燃料を減らす様に努力したいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが 必要なものだけ買う、そして買ったものを食べ切り使い切り、ごみを出さない工夫を心がけたら良いと思う。可燃生ごみ収集日にたくさん食べれそうなものが出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年目標達成されたことはすごいと思った。世界で取り組むべき問題だと思う。自分に来ることは食品ロスを減らしごみの分別を守り、光熱費の節約やなるべく自転車や歩いて移動する等心がけている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみの捨て方、循環できるものを、アナウンスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人が自覚してごみの排出量を減らす事にもっと努力すべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なルールを守る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政に丸投げすることなく、自らも取り組んでいかねばとあらためて考えさせられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからも今まで以上にごみ分別を意識し、削減化に協力していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルショップで受けられない衣類は衣類回収に回している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しっかりと分別して再利用できるように協力したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活を質素にして、ごみを削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが考え取り組まなければならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃小さいごみであっても分別している身としては、ごみ焼却処理量減少はやった甲斐があったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はごみの分別をきちんとしている方である。でもいろんな方と話すとなんか全然してない方もいてガッカリする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみをリユース、リデュース、リサイクルしていくことは進んでいるように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却量の減少が実現していることに驚いた。活動したことが実るのだと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ なんでもリサイクルできるものはリサイクルするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定規模のマンションへのリサイクルボックスの設置の推進。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ焼却量が毎年減少していることを見て、自身もより一層リサイクルなどごみ減少活動を頑張ろうと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭からでるごみを少しでも減らしたい。使えるものはできるだけ、最後まで使いたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別に取り組みたい。ネット通販が増え、段ボールが増えていて、資源として再利用に心がけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感じたこと：目新しいものはない。必要な取組み：フードドライブのような日用品、文房具などのドライブ。

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ なるべくごみを出さない、完全な分別を頑張ろうと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルは常にしており子どもにも伝えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い市なので、住んでいる人間に対して処理の先や処理の手が足りていない気がする。なるべく循環させたいと思うが、違う国の人達がすごい勢いで増えているので、完璧にとは言わずとも文化も価値観も違う人達を受け入れる以上そこをしっかりと理解してもらって住んでほしい。ただ国籍問わず、分かりやすくリサイクル出来るものも燃えるごみに一緒に捨てている人がいて、あまりに露骨だとげんなりする。周知だけでは適当で守らない相手には、ひどい時は罰則があっても個人的にはいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ とよっぴーが打ち切りになると聞いた。学校給食の残渣を市内で循環させる良い取り組みだったので、残念である。今後の学校給食の残渣についても、何らかの形で循環の仕組みを作ってほしい。また、生ごみをコンポストやキエーロでごみにしないようにするのが、ごみ減量の大きなキーになると考えている。他の都市での事例を参考に、豊中市の都市コンポストの体制ができると嬉しい。 ・ 焼却量が年々減少しているのは意外である。今後も食品ロスにならないような取り組みを個人でも行っていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服のリユース、賛成である。大人の服も取り組むと良いかと思う。物があふれてるこの時代、捨ててしまうものが多く、ごみが増え悪循環である。バザーやリサイクルも含めていいと思う。お仕事の時間の都合で、なかなか参加しにくいのでスーパーなどで営業時間中いつでも回収箱に入れる等が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの排出量が減っているのは、経済的な影響もあるでしょうがメーカー等への過剰包装の抑制などに係る全国的な啓発が功を奏しているのだと思う。最近、昔に比べて大分簡素な包装になったなーとハッとすることが良くある。ちなみに焼却処理量を減らすことを指標とされていますが、ごみが燃やさない処理に回されて、結果的に焼却処理量が減った場合はどういう評価になるのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市の粗大ごみの捨て方のホームページに、「おいくら」のリンクがあったので利用したことがある。本はブックオフ、服はセカンドストリートなど、リユースにつながる民間企業のリンクを増やしてもいいのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども服のリユースは成長が早くて服のサイズが変化していくのでリユースを利用する事で廃棄の無駄を減らせて経済的にも負担が減るので活動が増えると良いなと思う。生活の中でリサイクルに協力できることを増やしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 永遠の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再活用を心がけたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロスは家計ロスにも繋がるので、より一層「もったいない精神」で食品ロスの削減に努めていきたい。そして、資源化できる紙類をごみにしていないかもう一度見直そうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰で買い控えていて、ごみが減っている。普通に戻ればごみは増える。町にごみ箱が消えてから、コンビニごみがミゾに捨てられる毎日。表向きの数字より市民の一人ひとりのモラルが何に対しても必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルを〇〇gでマチカネポイント〇〇ポイントみたいな形でもっと分別を促進することで、ごみの量も減らせれそうだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭から出る可燃ごみの内容物の割合調査が興味深かった。リサイクルできる資源が多く含まれている事に驚いた。改めて自分のごみの捨て方について考えることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ごみの種類別の内訳は全然知らなかったなので、具体的な数値として知ることができて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長く使うこともごみの焼却処理量を減らすことに大きく関係するので作る側の企業も頑張っって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ等できるだけ排出しないよう取り組みたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物が溢れている昨今、必要な物が不要ないかを考えて購入選択するようにしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ減量を今まで以上に努力していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコバッグ持参する。

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ エコショップを知らせる活動はあまり意味がない気がする。エコショップであろうがなかろうが、家から近いスーパーで買い物をする人がほとんどだと思う。ごみ収集車に子どもの絵を塗装するのも、大人が環境を考えるきっかけにはあまりならなさそう。皆そんなにごみ収集車をしっかり見ないと思う。可燃ごみの中身の内、食品ロスと紙ごみに関しては自分の意識がけで減らしていけそうなので、減量に取り組んでみようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコショップのイベントをもっと魅力的なものにしてほしい。今行われてるものは、物理的にイベントに行ってもレシートを見せないといけないが、以前やっていたように、オンラインでレシートを撮影した写真を送るシステムにしてほしい。そもそもエコショップの認知度が低すぎるので、なんとかしてほしい。また、給水機が設置されているが、すべての図書館、駅にも設置してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを減らすのは難しい。自分でも考えて行きたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物を無駄にしないように、食品ロス対策に引き続き、取り組んでいきたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ なるべく分別をしていくのが第一だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でも意識してごみ削減に取り組んで行きたいと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境のためにごみ減少をめざすと言う事だろうが、分別された資源ごみの利用方法など、もっと市民に知らせるべきではないか。減少よりも、ごみ処理の効率化を指向すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内のごみを公共施設等のごみ箱に放置しているのが目に余る。極力公共施設等のごみ箱を撤収し家庭内のごみを持ち込ませないようにする必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ テイクアウト商品購入時の使い捨てプラ容器がなんとかならないものかといつも思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコショップによって回収対象が違うのでやりにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環型社会は、ごみという概念がなくなる社会ですね。ごみに価値をつければ、誰もそれを「ごみ」と呼ばなくなる。自然界では、ごみは存在しない。アリとか、バクテリアとかが、見事に循環させている。二酸化炭素も、大気拡散と光合成で、見事に循環している。ごみという概念のない社会、考えてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が家では、可燃ごみにプラスチックごみが含まれる理由として多いのが、調理カスを臭いがしない様に食品を包んでいたプラスチック袋に包み（特に夏場は何重にも包んで）可燃ごみとして出している。調理カスの臭いが出ない簡単な方法があれば、可燃ごみとプラスチックごみをほぼ確実に分けることができるのだが。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃ごみの内訳を実際に数字で見て、ごみの分別により意識的に取り組んでいきたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ とよなかエコショップに行ったりして、どこでどんなことをしているかに興味を持った。新しいお店にも出会えるので楽しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が家は生ごみはコンポストで処理しているので、回収ごみは他世帯の数分一である。1週間であれば中袋で1/3しかでない。生ごみは肥料にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの焼却処理量削減にはプラスチックごみの適切な廃棄も関わると思うが、洗浄のため水を無駄遣いする問題とのバランスについて取り組む必要を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを出すのを減らす努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粗大ごみの回収日を多くして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別を、しっかりやっでごみが少なくなるようマイボトルとかを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べきれる量を購入して、食品ロスをなくし、家庭ごみの量も減らす様に心掛ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成しながら進捗しており、すばらしいと思う。微力ながら家庭内ごみや食品ロスに努力したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別ごみを徹底し、リサイクル出来るごみはリサイクルにまわすようにする事とビニール袋はつかわず、マイバックを利用する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫の中身を把握し、無駄な物を買わないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人がしても意味がないし、今の子ども達が興味を持たない限りだめだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ マイボトルの利用、ごみの分別、紙を分ける、ペーパーレスの推進など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却処理量について、2019年から順調に減っていて、良いと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別を徹底することが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別をしっかりする。

①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを減らすための手段として、最近ではフードバンクやジモティーなど、捨ててしまうものを有効活用するためのツールがあるので、そういったものを利用することでごみの量は確実に減らせる。フードバンクへの寄付に対してマチカネポイントの付与などがあれば、各自のモチベーションにもなるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほかの自治体で導入されているところもあると聞くと、飲食店の廃棄や形の悪い野菜、スーパーの賞味期限切れ食品などを安く買えるアプリやシステムがあれば、みんな助かり環境にも優しいと思うのでぜひ導入してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ リユースをもっと充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロスを出さない暮らしにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民一人ひとりが分別方法を守り自治会等で話し合い組織的に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの量が減ってきているのが数値として見える化されていて良かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市に住んでいてごみの処理について、不満に思ったことはないが、取り組みについて、情報を共有いただけることは、とてもありがたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「面倒くさい」と思う気持ちを抑えることができるような学習が必要である。ちょっとした手間をかけることでどれくらいの税金を節約できているのか知ることがモチベーションになりそうである。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロスは考えなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別努力が全体的に広まったらいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近空き家の片付けを体験したが、古くてもまだ使えそうなものばかりだった。欲しい方には譲り、売れそうなものはお金に変え、市が推進しているジモティーも活用した。しかしそれには時間と労力、隠れた費用（交通費、送料など）がかかった。粗大ごみは大きく重く一人で運び出すのは若い男性でも難しいのに、ごみ集積場まで運び出さなければならず、それができないと、市に申し込みもできない。業者に依頼すると万単位で費用がかかる。ただただ焼却量が減ったとかではなく、こういう隠れた努力や費用があるということも含めて報告してほしい。これから高齢者が亡くなってごみ屋敷が増える原因となる。片付けるのは遺族である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市内で引越しをした先のマンションでは紙ごみの分別が段ボール、新聞紙、古本雑誌のみの場所しかなく雑紙や牛乳パックのようなごみはまとめていなかった。紙ごみの日に指定ごみ袋で出そうとしたら、燃えるごみの日に出してと言われた。ごみの回収業者によって仕方ないという話でしたら申し訳ないが、以前のマンションでは雑紙や牛乳パックたちはまとめて指定ごみ袋でだしていたので違いがわからない。スーパーでの回収に牛乳パックを持っていくのは正直手間なのでそこまではできそうにない。またペットボトルの回収日が少なく感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標に向かって私が思っていたより進んでいると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルを利用する。冷蔵庫を確認の上買い物をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外から転入してきて、ごみ分別が細かくて驚いたが、この報告を読んで市をあげてごみ焼却処理量減少に取り組んでいるのだなとわかった。まずはごみの分別を頑張っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成への費用、経費を稼ぐという視点を入れてはどうか。ごみの中には貴金属やリサイクル資源となるもの、まだ使えるものが有ると聞く。これを環境を守る資金として活用できないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの収集を有料にすれば、ごみはもっと減ると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみを減らすなどもったいないことを実践する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別をもう少し細かくしてはどうか。回収は難しいと思うので、スーパーや地域の会館などで拠点回収をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを出さない工夫が必要なのかもしれない。リサイクルできる環境。生ごみは土に返すなど取り組まないと行けないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ問題は難しい。主人とでも意見が分かれ、つい忙しいとごみが多くでてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい問題だが、地道に行う事が大事である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の出来るところからやっていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きっちり分別して取り組む。

① 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進	
<ul style="list-style-type: none"> 目標2についても同じだが、自然と溢れ出してくる物、必要でなくなるもの、なとうまくリサイクルできればと思いはあるものの、なかなかむずかしいものだが、フィンランドなど北欧の捨てない方針に関心があり、回収されている実態がある。なんとか日本人の意識にも根付いていければ、ごみも減るのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども服のリユースなど、良いと思う。GUやユニクロなど、リサイクルボックスを作っているお店も最近はこちらほらありますが、まとめてリユースに出せ、必要な方に着ていただけるのは嬉しくありがたい。また、ごみの削減について、報告書を読んであらためて、より意識して取り組みたいと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別をきちんとして、みんなが少しでもごみを出さない工夫をしていく事が大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみを減らすために食べ残しを減らしたり、野菜の皮などをできるだけ取り除かず利用したりしようと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ごみの分け方がよくわからない。粗大ごみの見方も判断に迷うから、もう少し資料が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 細々とはあるが、出す家庭ごみの量や分別には気をつけているので、ごみ焼却量が目標値を達成しているのは嬉しく思った。

② 廃棄物の適正処置の推進	
<ul style="list-style-type: none"> これからの将来を考えると避けて通れないごみ問題。ごみを出すのにまた、立派な、多少のことでは直ぐに裂けない豊中市指定のごみ袋をわざわざ購入してごみを更に増やしているようにも思える。ある市ではどんなごみ袋でも良いが、目立つ所に市の指定したシールを貼って出すということをしている所もある。その方が本来のごみの省力化に繋がるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみが隔週で雨が降ると古紙を出せず持ち越すと1ヶ月近く置いておくことになるので毎週回収してほしい。 クリーンランドの利用をもっと簡単にして欲しい。 事業系と家庭ごみの分別を統一させればコストダウンできないか。
<ul style="list-style-type: none"> また、紙ごみの収集が2週間に一度のため、紙ごみで出すべきごみを可燃ごみで出してしまう問題への取組みも必要ではないか。収集日の増加や啓発以外の取組みを模索すべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの処理では、リチウムイオン電池の危険性の啓発、個人的にも注意が必要と感ずます市役所の皆さま、ごみ処理関連業者さんには、毎日感謝している。引き続きよろしくお願ひしたい。

環境目標④ みどり率 27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

①受け継がれてきたみどりの保全や育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートアイランド対策として街中への部分的なみどりの植栽も大賛成であり、ある程度まとまった生体環境が根付くような緑地区もあればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の土地の小さな畑、田んぼ、果樹園なども、近年駐車場になってしまうところが多く街中のみどりの損失に感じる。維持できるような政策があればと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港近くの展望スペース ma - jika を作る際、渡り鳥や生態系が定着していた緩衝緑地の林をかなり伐採して切り開いてしまったので、とても残念である。小さい区画で難しいこととは思うが、千里緑地公園や服部緑地のようにもう少し自然を多めに整備区画と一体化した空間デザインでよりみどりを増やしてもらえると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の公園及び緑地帯の整備に重点を置き、住民が「豊中市に住んでいて良かった」と感じられる環境を維持する事が、今後のみどり環境の充実に寄与すると思う。予算の関係からだろうが、荒れたままの緑地があるのが残念である。まず足元を固めてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な課題だと感じた。自分にもできることがあると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数年で竹林が減って行くのをすごく体感して、生物や環境の変化が気になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市の田畑が減っていると以前お祭りで知った。そういった知らせる活動もありがたく、みどりの保全に自分も協力していきたい。子どもにもみどりの大切さを教えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅周辺はみどりも多く公園も多くいいと思う。みどりの多い街がやっぱりよい。生き物がいる方が、子どもにもよい。雑草などの手入れがもっとやりやすい環境になると、見た目も、みんなの見方も変わると思う。難しい議題である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 27%が多いのか分からないが、いい取組みだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどり率 27%が何処から出てきたのか知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっとみどりを増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと高い目標値でも良い気がする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みどり豊かな町になる様願っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園が雑草だらけで使えない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の相続の際に、農地としてではなく宅地にしてしまう事例が多いと聞く。豊中市にみどりや農地を残したいのであれば、現状の農地を相続する際のサポートが必要である。また、地主としても宅地を農地や緑地として転用することにメリットがないので、そこにメリットがあれば良いのではないかと思う。「都市を耕す」という映画を観たが、公園や道路脇など、公共のスペースを含め、市民が自由に集う農地や菜園スペース、プランターを増やすのも面白いと思う。みどり率の上昇はなかなか難しい課題だが、もっとみどり豊かな豊中市になることを切に願っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園でもせっかく低木？植え込み？があったのに道路から中が見えるようにするためなのか、高さが半分程度に伐採されてしまったり、病気等で危険と判断され伐採された樹木は、あとは切り株が残るだけで新しく植樹されていなかったり、まだまだできることはあると感じた。豊中市は大阪府内のほかの市町村と比べても気温が高く観測されやすい(気温計の位置の影響かもしれないが)ので、外出の際に木陰の存在はありがたいのもっと増やして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市としてしっかり取り組んでいると感じ、自分でも微力ながら出来ることに取り組んでいきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市でありながら、自然を感じられる市だと感じる。坂が少なければもっと住みやすいのが残念である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みどり率がだんだん上昇しているのがわかりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどり率がだんだんと上昇しているのがわかりやすかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みどり率は現状で十分だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組みを評価する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化や、環境破壊など言葉では、何となく知っていたが、深くは知らなかった。また、自分たちにできることもあり、気にかけてながら過ごそうと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千里中央に住んでいると、みどりが多そうに見えるが、すぐに大きくなる木ばかり多く、地面に根を張る木が少なく感じる。木の種類の選定をお願いしたい。

①受け継がれてきたみどりの保全や育成	
<ul style="list-style-type: none"> みどり率 27%を意識している観点が、これからも安心してみどり豊かな豊中であり続ける努力をしていく市としての安心感がある。長くこれからも住み続けられる安心感を感じた。豊中らしさもとても良い言葉だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人的には、もっと、みどりを求めている。18歳以前まで、住んでいた故郷の三重県は、みどりをもっと多かった。やはり、植物がいっぱいあると、空気がキレイな気がする。見ることも癒される。
<ul style="list-style-type: none"> みどり率の採用により、みどりの割合を見える化している点はわかりやすく良いと感じた。一方でなかなかみどり率が上昇しないのは仕方がないことなのかなと感じた。みどりが少なくなり、景色がコンクリートばかりだと心が荒むので、みどりを体感できる中規模以上の公園は市の予算を使用して維持管理してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園では防犯面からか、年々木が切られて開放的な公園が多くなってきているように思う。昔からある公園では桜の木が老木になっているからか、切られているのも目立つ。新しく植樹している様子も見られないので新しい桜の木をたくさん植樹して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> みどり率について、直近は評価 D だったので、引き続き頑張してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市が頑張ろうとしている事は素晴らしいと思う。ついて行く。
<ul style="list-style-type: none"> これからもみどりを増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> みどりが減っているからよい取り組みである。
<ul style="list-style-type: none"> みどりが綺麗な町だとおもっている。きちんと街路樹も整備され、掃除も地区や市がおこなっている。隣の市のように切っておしまいでは夏の日陰や季節感がなくなり殺風景な街並みになってしまう。人が集う公園やふれあい緑地もいいが、食料自給率を上げるような緑化を考えるのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 引っ越し先やマイホーム購入を決める時、みどりの多さは気になるポイントである。北摂地域の中でも、豊中市は山が少なく、ほどよく都会で、きちんと樹木の手入れをされている公園や個人宅が多い印象である。街並み、道路ひとつを見ても、みどりがあると、印象が違う。人手不足で樹木の管理も大変だと思う。樹木の管理をしてくださる方々に感謝している。
<ul style="list-style-type: none"> 「豊中 desert」と大阪大学豊中キャンパスが呼ばれていたのも、みどりの林はみんなの願である。 	<ul style="list-style-type: none"> みどり豊かな公園が多く癒される。公園だけでなく、街角などにもちょっとしたみどりがさらに増えていけばいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> みどりの質を高める方向性には大賛成である。みどり率の向上より質の指標の方が興味ある。質を市民に問う方が実情を把握できるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 近くの公園を見ても樹木は枯れていっており伐採され減っているのに満足度が上がっている理由がわからない。
<ul style="list-style-type: none"> 散歩をするときに、みどりが多いと気分がよい。ずっと続くといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> みどりを増やしてほしいのは勿論だが、その後の管理などをもっと地域住民などの意見を取り入れてステキに保ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> みどりをめざす際、夏期には歩道などに日陰出来るように植栽する。自転車、自動車の走行に支障がない様に御配慮願う。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化にしても、今年の猛暑で新しく植えられた木々も立ち枯れが目立つ。一本何万円もするのに税金の無駄だと思う。数字よりモラルだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> なかなかいい。 	<ul style="list-style-type: none"> みどりをみるだけで精神安定につながる気がする。街路樹等植物を大切にしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 他市に比べて豊中はたくさんみどりが豊かだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> これからもみどりの多いまちづくりを進めてほしい。

①受け継がれてきたみどりの保全や育成	
<ul style="list-style-type: none"> 豊中市が「みどり率 27%」を目標に、公園整備やみどりの保全に取り組んでいることに共感した。みどりのあるまちは景観が美しいだけでなく、心の安らぎや地域のつながりを育む大切な要素だと思う。私自身も、身近な花や植木を育てたり、ごみを捨てないなど、身の回りの環境を守ることから意識していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 配布だけではなく、持続可能なみどりの管理への取り組みも知りたい。落ち葉処理や剪定はどのように取り組んでいるのか興味がある。焼却処理ごみの増加や、ボランティア頼みの清掃といった不安要素への取り組みが知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> 花が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> みどりが増えると嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> 木陰が増えて、ベンチで休めるとかできたらいいなと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> みどり率の目標値をもっと上げることはできないかと思った。

②都市のみどりや地域の身近なみどりの創出	
<ul style="list-style-type: none"> みどりが多い街並みがいいので、事業を進めてほしいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園や空き地、住んでいない住居の撤去をして緑地化を進めてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 服部緑地や豊島公園などみどり豊かに思っていたが、目標値の 27%に届いていないことを初めて知った。同時に豊中市総合計画にあるみどりの減少による課題がここに繋がることを知った。個人からできるみどり率 up を視点に家庭菜園や植物を育てたりしたいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市は政令指定都市でありながらも比較的にみどりが多い。27%を維持するために高層マンションや商業施設等が経っても自然と共存していけるように意図的にみどりを保護していく働きかけをしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 田畑が、住宅や店舗に変わってみどりが激減したのは間違いではないが、マンションなどは植林が必ずされている。「花いっぱい大作戦」で子どもたちが、みどりに触れて愛でる心が、芽生える事は良いことである。 	<ul style="list-style-type: none"> マンション等に樹木を配布していることは知らなかった。ビルの屋上緑化やそれと合わせた市民の憩いスペースの設置等、より取り組みを強化してもらえれば、満足度も上がるのではないかと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> やはりエリアごとで計画を考えてほしい。緑地公園やその周辺だとみどりは明らかに足りている気がする。問題は住宅密集地や工場エリアかと思うので、そちらの壁面緑化や植樹、特に放棄地の利活用（権利等で相当難しいとは思いますが）などで変えていくのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園などに草花を増やす。多年草をベースに季節の折々に応じて植え込む。道路沿いにポプラなどの並木道を作りウォーキングなどに使えるようにする。自転車道もあればサイクリングにもいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 豊島公園の近くに住んでおり、日々そのみどりに心が洗われる。家のベランダにもいくつか鉢植えがあり、世話することで小さな喜びが生まれている。みどりとの共生、共に生きる豊中にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後人口が減っていく中で街の魅力がないと住民はどんどん流出していくからみどりの多い街作りはいいと思う。自分ができる事はないがせめて落ちてるごみくらいは拾おうと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 元々、豊中市はみどり・自然が多い街として認識している。住宅街のみどりも整備され、景観向上と防犯等に役立っていると思う。花いっぱい大作戦などの取り組みも、市民や事業者が楽しみながら実践できる良い取り組みと思う。散歩する時に綺麗な花で彩られた街を観るとウキウキする。 	<ul style="list-style-type: none"> もっとも分かりにくい項番である。目標と満足度が一致していない理由の分析等もあればいいと思う。我が家は戸建てなので、緑化について知る機会があった。一方近隣でも、緑化の取みに差があり、疑問に思っている。また、空き地周りは荒れ果てており、ポイ捨て、タバコの吸い殻などなかなかないかと毎日思っている。

②都市のみどりや地域の身近なみどりの創出	
<ul style="list-style-type: none"> 要因分析に書かれているとおり、効果的な施策の改善と持続的な取組みは必要だと思う。どんな活動を検討されるか期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地、マンション、学校、工場などにみどりの苗を配布する緑化活動の取組みはとても良いと思うので今後も続けて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> みどり率という指標をそもそも知らなかったうえに、27%という高いとも言えない数字が目標になっているので、何がしたいのか一般の人に伝わりにくいと感ずる。さらにGreeneryの減少は、旧来の生け垣や庭のある民家が減っていることも大きな要因の一つであると感じるが、それに対する対策はおろか、現状把握すら無い。経済原則に任せた不動産開発では、狭小な住宅をコンクリートで埋め尽くした住居が出来上がるばかりである。関西及び全国へ名だたるベッドタウンである本市としてはもっと不動産開発に対する踏み込んだ施策が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地、国道に、みどりがなくて、息苦しいし、暗い。豊中市の北側はステキである。同じ豊中市なのに、なんでかな...と不思議である。ぜひ、176辺りの木が枯れかかっていたり、雑草ボーボーのところを美しく、自然豊かにして欲しい。空港の騒音などで、ただでさえ、落ち着かない地域なので、どうか、安心して子どもや女性も住みやすい地域、庄内、稲津、に変えてほしい。環境が変われば、人も明るく穏やかになると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 庭に草木を植えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 27%以上に上げてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 豊中市にはみどりが少ない所もあると感じる。例えば、緑地公園など小さくてもみどりの多い環境があれば、お散歩など、気分転換にもなるし、季節の変わりゆく気配も感じられると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市南部は特にグリーンが少ない様に感じる。グリーンを楽しみながら、交流したり散歩ができる広い場所がもっと増えて、暮らしやすく綺麗な街になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> みどりが増えるのは大賛成である。土地がどんどんなくなり、みどりが減っている。駅など憩いの場があるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書からキンモクセイなどの樹木の配布をしている事を知った。良い取組みだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> CO₂削減なんかより、よっぽど効果あると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは、みどりのある場所について、そのよさを体験したい。
<ul style="list-style-type: none"> 豊中駅の周辺、なんとかしたい。とりあえず、自動車を迂回させられないか。自由に歩けるようにすれば、みどりもお店も自然と増えてくるのではないか。時間の針がゆっくりと進む街、みどりが似合うと思うがどうだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園等は、みどりに溢れ、手入れができていと感じる。電車の駅前にもっとみどりや花壇があると心が和むと思う。予算があれば駅前の緑化に努めてもらえると嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の家の周りも植物を植えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家の庭で花を育てようと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 空いている花壇を、お手入れしてくれるボランティアを募集する。 	<ul style="list-style-type: none"> 千里中央再開発には今よりも多くのみどりをめざしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 田舎すぎないみどりの多い街だと嬉しい。取組み自体にはなにも貢献は出来ていないががんばってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの方々も活発に活動してくれていて、私にはできてなかった事なので、応援していきたいと思った。
<ul style="list-style-type: none"> みどり豊かな街づくりをめざしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 庭にみどりがあるので大事にする。
<ul style="list-style-type: none"> 花を植えたり、気を植える。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市内北部、中部に比べて南部はみどりが少ない。
<ul style="list-style-type: none"> 豊中市に少しでもみどりの多い環境を作っていけば、心豊かに過ごしていけると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中はみどりが豊かなイメージがあり緑化樹配布が広がってさらにみどりが増えると嬉しい。

③みどりを活かした安全で快適なくらしの実現	
<ul style="list-style-type: none"> みどりの質の向上をめざし、公園の整備に取り組まれているのも素晴らしい事である。みどりも賑わいも溢れる公園が増えるのを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市には、市民が気軽に参加できる植樹活動や花壇づくり、みどりを楽しむイベントをさらに充実させてほしい。自然と人が共に生きる、心豊かなまちづくりを期待している。

③みどりを活かした安全で快適なくらしの実現	
<ul style="list-style-type: none"> 市民ボランティアだけでなく子ども中心に展開できるような試みを企画して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内でたまに見かける。増えるといいと思っている。活動の参加方法をもっと告知するのがいいかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 新しく、千里中央には広い公園ができる予定ですが、よくあるツツジばかりの公園ではなく、植物多様性を考えて、整備してほしい。私はツツジアレルギーである。単一の植物は杉に見られるように、アレルギーの元になるように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大賛成である。豊中市は周りの市と違って山、みどりが豊かとは言えないと思う。例えば、千里中央駅周辺の再開発は緑地を増やすチャンスである。従来駅前周辺開発とは違う環境を使ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 曾根から服部天神に自転車で移動することが多く、町中のコンテナに、たくさんの花が植えられているのをよく目にする。ボランティアの方が手入れをされているのも見て、豊中市や市民の取り組みについては日々感じている。最近是我が家でも、花木以外に、プランターで簡単に育てられる水菜、三つ葉、ニラなどを種から育てていて、同僚にも苗を分けている。花や野菜を育てるのは、楽しみにもなり、家計の助けにもなると思う。簡単に育てられることが分かれば、もっとたくさんの人が花や野菜を育てることができると思うので、きっかけ作りをしていただければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> みどり率の向上をめざしていると思うが、市民目線で具体的にできることがないと感じた。庭に木を植えたところで、みどり率が改善される訳でなく、豊中市や民間の事業として、植樹帯を増やしたり、開発の際に緑地の附置を指導することが求められる。自分でも取り組んできたこととしては、間接的ではあるが、米ぬかを用いて、生ごみや枯れ葉をコンポジットにより肥料にして、家庭菜園でみどりに繋げている。自分でも取り組んでいきたいこととしては、みどりのイベントの情報収集をもっとして、積極的に参加していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化、自治会役員の高齢化、自治会活動参加者減少などにより地域の公園掃除も行き届いていない現状である。美しい公園を取り戻し住民が集える公園になると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい施設や公園などを整えるだけではなく、きちんとした長期的なメンテナンスを考慮したまちづくりが必要である。メンテナンスすることを前提とした街設計が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 暗かったり、道路が割れているところが多く、心豊かになるためには、みどりや花があって綺麗に整っていると嬉しい。市の街路樹は元気がなくて、歩道は雑草がボーボーなところがある。キレイなところには犯罪は存在しないので、がんばって欲しい。豊中市の庄内が、女性や子どもが安心して暮らせる街になる未来だと嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中にみどりを増やすためにはどうしたらいいのか、個人でできることはあるのか、考えた。無料で苗など配布してもらえたら育ててみようと思えるかもしれない。ただ家が市役所から遠いため、市役所での配布ではなくいろんな場所での配布してもらえたらと思った。
<ul style="list-style-type: none"> 今後、公園の数が増えるといいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと学ぶ機会があればいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> みどり率 27%と聞いてなんとなく今でも達成できてそうに感じたが目標になっているということは未達成だと思う。今に比べてどのくらい増やすことが大変なのか、具体的な面積や量がわかるとイメージしやすいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> みどり率を 27%にするのに何年もかかるのだなと知った。家でプランターに種を蒔いて育てることならすぐにできそうである。イベントや講習会などがあれば参加したいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 公園の手入れが足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが考え取り組まなければならない。

④生物多様性の総合的な保全と活用	
<ul style="list-style-type: none"> 赤坂下池ため池の葦原を市内の緑地財産として公的に管理できないか。住宅街・学校の前にありながら、6から9月の夕暮れに数万羽の燕が集まる、関西有数の希少なねぐらである。市の催しの観察会にて案内されている方から伺うと、燕が安心して眠れる強度の葦を保つには毎年刈り込み(人の手入れ)が必要とのことである。 	<ul style="list-style-type: none"> この数年はボランティアでの刈り込みが出来ず、古い葦は倒れ、ツタの水草が増えたため数万羽ずつ減ってきている。有識者の方を入れ予算を組み、なんとか保全できないものか。自然・生態系が崩れるとなかなか元には戻せません。定着した生態系はその土地の財産である。ご一考願いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ビオトープのイベント等、普通にいいのかわからないので、広報誌とよなかなどで、普通に参加できる、みたいなことを伝えてもらえたらありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープによく行く。子どもが小さくまだ活動には参加していないが、展示している生物を見て学び、生き物、植物に触れ合えるのでとても良い取組みだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 花を植えたりビオトープを活用するのはそれはそれで良いが、豊中北部には島熊山や、阪大の敷地内ながら待兼山のような自然の林があるのに、それが市民にはほとんど知られてはいないし、保全もボランティアまかせだったり、放置だったり活用されていないのが非常に残念である。 	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥との共生も大事である。

⑤都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出	
<ul style="list-style-type: none"> 環境基準のロジックをいつもそれで本当に達成でいいのか、と思って眺めている。快適な都市環境にだけ照準を合わせたことを書くと、先程別で異国の方について触れたが、先日大人が路上の植樹に食べた後のごみを埋め込むのを見た。むしろ理解出来ない行動を平気で取る日本人も増えていると思っている。ごみについては周知も必要かもしれないが、路上タバコとポイ捨て然り、そのままでも環境基準をクリア出来るのか。この先に目標を100達成するならば、こういったところへも強制力のある罰則があってもいいかもしれない。残念ですが、周知だけでは堂々と無視する人間が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関先に花などを植え、見る人たちの豊かな気持ちに少しでも貢献できていればと思っている。また、公園等住民がボランティアで花の手入れができるスペースを確保し、地域のグループ単位に花の購入費用等を補助する取組みがあれば良いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 庄内から服部のみどりがなくて、息苦しい。ごみ拾いをするが、ごみが多い。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体や自治会などに補助金を出して、みどりを増やす取組みはできないのかと思った。
	<ul style="list-style-type: none"> ごみ拾いを個人でしていますが、ごみが多い。
<ul style="list-style-type: none"> 森林を増やし、無駄な開発を控える。 	<ul style="list-style-type: none"> 電線を地下化し、街路樹を増やして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 緑化や清掃などの活動に、ゆるく気軽に参加出来ると良いと思うが、身近にどのような活動があるのかあまり知られていないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市は、公園が近くにあり、みどりもあるが、密集した家があり、見通しが悪く治安が心配である。みどりのある公園は、周りの住民が管理してもらえたら、市政も把握しやすい。

環境目標 5 環境基準の達成状況 100%で快適な都市環境をめざす

①環境汚染防止対策の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から通るたびに気になっているが、空港前 10 号線の高速道路下の河川や空き地でポイ捨てのごみが溜まっている場所がある。(柱番号：空 362、282 あたり) 高速の管轄なのか豊中市管理なのかかわからないが、水も汚れてしまい流れも詰まっているため対処いただければと思う。 南部の工場地帯密集地は薬品の混ざったような作業水が未だに側溝や歩道・用水路に流れているように見受けられるところもあるので、地域的には水質・土壌の環境基準値を下回るところもあるのでとは懸念している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊中市が大气や水質、騒音などの環境基準を守り、快適で安心して暮らせる都市環境をめざしていることを知り、日々の努力に感謝している。私たちの生活の中にも、エンジンをかけっぱなしにしない、節水を意識するなど、小さな工夫で環境を守ることができると思う。私自身も、周囲への配慮を意識しながら、きれいで住みやすい街づくりに協力していきたい。豊中市には、環境に関する情報をより分かりやすく発信し、市民と一緒に学び考える機会を増やしてほしいと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境が悪い南西部エリアにおいて、実質的に居住エリアがある準工業地域の環境改善のため、町工場等が環境をともに改善するための環境を整える必要がある。 人が住まない古い家屋を解体して新しい居住エリアに変えるために（街の新陳代謝をはかるために）、土地の未利用エリア（更地放置もしくは仮駐車場用土地）の所有者が、土地を手放すための環境を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々猛暑で異常な高温が続き雨も少なく、しかもすぐに目標達成を実感することが出来にくいとても難しい目標だと思うけど、継続してわかりやすい情報発信をしてほしい。安心して住める環境基準達成は自慢出来る。 ・ 大气に関する注意喚起の回数が、ここ数年少ないので、安心した。 ・ 進捗状況について定期的に情報提供をお願いしたい。
②都市・生活型公害対策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱帯夜がツライので、夜遅い時間でも利用出来るクールスポットも設置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行機の騒音に関しては小型機も増え、そこまで気にならなくなってきたと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間施設のクールスポットは、災害対策と同じくらいとても大切だと思う。しかしクールスポットや給水所が日常生活する上でどこか分からない。知ってる人は知ってると思うが、近くを歩いていても案内が無く気付けない。例えば千里中央の場合、駅近くの柱や千中 PAL、SENRITO の建物の外や、選挙ポスターを貼り出す柵などに、看板や貼り紙をしてはいかか。また、クールスポットに関しては真夏に向けて「屋根」や「風スポット」を増やしてほしい。千里中央の喫煙所、駅と千中 PAL の間にある遊歩道など、人が多い場所に涼しく休める場所がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この項目に関しては、市民が自分ごととして中々捉えにくい内容と思うが、クールスポットが街中に増えて行けば、猛暑日も安全に移動し、過ごす事ができるので、更なる協力事業者の増加を期待したいところである。雨水利用の件数なども、目標 4 と絡めて、増やして行けると良いのでは、と思う。 ・ 航空騒音については、影響ある地域に居住されている市民に取っては大きな問題である。ふれあい緑地や新たに出来たつばさ公園などの騒音緩衝&魅力向上の役割を、市民のみならず多くの人に広報し、マイナスをプラスに変えて行かれてはと願っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転で車の台数を減らして、自動車道路を市民の歩ける場所として、市民に返す、というのはいかがでしょうか。 「過程」を楽しむ、この価値観がうまく広まれば、移動の目的は、早く目的地に着くことではなくなる。 環境基準も自然に達成されるのでは、と思うがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ びっくりしたのが、飛行機の騒音である。豊中真ん中から北側はすてきです。飛行機の着陸のところにお花を植えるなら、騒音で大変なエリアの、築年数関係なく、二重窓設置、防音設置、補助、緑化をしてほしい。

②都市・生活型公害対策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 道路の騒音の測定がどこで、どれくらいの箇所で測定されているのかが不明である。鉄道沿いは正直大変うるさい。府道2号北大阪急行の高架下が非常にうるさい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本で猛暑の中、暑い街によくランキングに出る豊中市と、なっている。西から吹いてくる熱風が、豊中市を暑くしているのか、私達ができることがあるなら、やりたいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 昭和56年以前の家など決めずに、騒音区域の住宅は、二重窓必須にしてもらえると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年の夏は暑すぎたので、たくさんクールスポット利用した。認知度と利用のしやすさをもっと高まるといいと思う。

③健全な水環境・水循環の創出	
<ul style="list-style-type: none"> 環境基準達成状況の評価はDだったが、航空機騒音など市の取組みだけでは難しい点を除けば概ね高い基準であることに安心した。ただゲリラ豪雨多発などもあり、雨水排水整備率は更に上がって欲しいと思う。 	

報告書全体に関すること

報告書全体に関すること	
<ul style="list-style-type: none"> 本資料内で、進捗は進ちよく、と表記されているが漢字にするか最初だけフリガナなどにしてほしいと個人的には思う。むしろ読み辛い。使わない漢字は忘れていくので、是非検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの協力でなしとげること。
	<ul style="list-style-type: none"> 目標は理解できたがどうやってなど詳細なプランが概要でもあればわかりやすいとおもう。
<ul style="list-style-type: none"> 全体の進ちよく状況はとても素晴らしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> どんどん進めて欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> 進ちよく状況を見て、すごいと思った。
<ul style="list-style-type: none"> みんなで取り組もう！のところはわかりやすく、取り組みたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 進ちよく状況については審議会評価や市の考え方の通りだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 達成には個人の努力だけではなく、行政も積極的に実現に向けて頑張してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み事例の仕組みを説明する図が、イラストと文字が多すぎて読みづらかった。
	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちはあるけれどもどれくらいの成果につながるかちょっとわかりにくい。